

平成26年度第3回普賢寺小学校コミュニティ・スクール推進委員会 会議録

1 開会

2 公開に係る説明

【事務局から説明】

3 議事

(1) 学校運営協議会の組織等の検討

【3つのグループに分かれて討議】

【各グループの討議内容の発表】

A グループ

(学校運営協議会の組織)

部会等	学力・学習	情報・環境	地域ふれあい
構成員	幼稚園、大学、学生(きゅうたなべ倶楽部等)、社会人講師、PTA、学校評議員、学校関係者	防犯推進員、区長会、農業委員会、市教育委員会、民生児童委員	ふるさと体験推進委員会、老人会、地元団体(代表)、消防団
担当事項	学力アップの取組、仕事体験、地元団体との交流、農と食育、大学との連携、幼稚園との連携、地域の歴史、お茶摘み体験、子どもが輝く場、地域探検	広報、特認校制度、通学路の安全、スクールバス、学童保育、特別支援学級の設置、空き農地の活用、災害時の取り組み、人材確保、教員の人事	各地域の行事への参加、行事の継承・改善、バトミントン、ハンドボール、二月堂竹送り、地域の趣味やサークル活動の場、地域全体のお祭り、ふるさと体験学習、大人や地域のお年寄り・職人が関わる機会

(名称・委員の任期等)

- 名称には地域に古くから伝わる言葉を使用すればどうか。
- 委員の報酬は必要。任期は2年（最大3年）。

B グループ

(学校運営協議会の組織)

部会等	地域	学校	行政	PTA
構成員	区長会、体験学習推進委員会、社会人講師、大学	校長、教員（数名）、学校評議員	市教育委員会	会長、前会長、特認保護者代表
担当事項	空き農地の活用、各地域の行事への参加、お茶摘み体験、地域の祭りへの参加、大人や地域のお年寄り・職人が関わる機会	幼稚園との連携、学童保育、学力アップの取組、体験活動の充実、ハンドボール	特認校制度、教員の人事、スクールバス、空き家の斡旋	子ども同士・保護者同士の親密性、学校評価、放課後の学習・遊び
	地域・保護者・子どもが一緒にできるイベント、しめ縄作り、卒業証書作り、地域の趣味やサークル活動の場、地域の歴史、雲上大遠足、大学との連携、地域探検			
		広報、特別支援学級、行事の継承・改善		

(名称・委員の任期等)

- 名称は「普賢寺小学校学校運営協議会」。
- 委員の任期は1年。

C グループ

(学校運営協議会の組織)

部会等	地域の活性	つながり	学校
構成員	地域の代表(充て職でない人)	地域のお年寄り、PTA	教員、地域の先生(社会人講師)、人材バンク
担当事項	子どもを増やす、空き家の斡旋、里親、後継者、地域バス、スクールバス、働く場所	雲上大遠足、しめ縄作り、料理教室、みそ作り、こんにゃく作り、昔の遊び	特認校制度、農業体験、お茶摘み体験、空き農地の活用、学校行事、放課後の学習(塾)・遊び
	地域行事、運動会、地域全体のお祭り、道の駅の祭り、竹送り(参加)、天王の祇園祭		

(名称・委員の任期等)

- 専門職として腰を据えて事業に取り組むため、委員の任期は3年。

まとめ

- A グループは、「子どもの学びをどうするか」という視点。
- B グループは、「学校が地域コミュニティの中心」という考えでまとまっている。
- C グループは、「委員がどう活躍するか」という考え方。
- 今までの学校は管理するスタイルであったが、子ども達の思いを吸い上げるシステムを取り入れれば、新しい形になるのではないか。

(2) その他

【事務局から次回の開催日程等を連絡】